

会 議 録		令和 5 年 2 月 22 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府右京警察署協議会（令和 4 年度第 4 回）		
開催日	令和 5 年 2 月 21 日（火曜日）		
時 間	午後 3 時から午後 4 時 37 分までの間（97 分）		
場 所	京都府右京警察署 道場		
出席者	卯瀧会長、東副会長、石田委員、太田委員、田中委員、樋口委員、 吉岡委員、吉田（佳）委員、 （欠席 芦田委員、内藤委員、中下委員、吉田（宗）委員、ライト委員） 計 8 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 刑事課長代理 2 人、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計 12 人		
諮 問 事 項	右京警察署の回顧と展望		
会 議 内 容	1 会長挨拶	司会	副署長
	2 警察署長挨拶		
	3 答申に対する取組状況 （ネット安心アドバイザー活動の更なる普及）	司会	副会長
	【警察】 現在作成中の右京警察白書に、活動の紹介記事や QR コードを掲載して普及する。 【委員】 よろしく願います。		
	4 協議		
	(1) 諮問事項説明 右京警察署の令和 4 年の回顧と令和 5 年の展望～各課長 【委員】 年間の拾得現金が 4,000 万円を越えるとの説明を聞いて非常に驚いた。 【委員】 右京署では、毎年これくらいの額となるのか。 【警察】 毎年同程度の金額の取扱いがある。1 円の拾得から 100 万円単位のものまで様々である。 【委員】 苦情の申出方法はどのようなものがあるのか。苦情内容はオープン		

にしているのか。

【警察】受理態様は、電話、メールのほか、現場で直接苦情の申出を受けることがある。個別の受理内容は公表していないが、申出があったことを真摯に受け止め調査している。年間の受理状況について、公安委員会に報告するなどして、組織的に改善策を講じている。

【委員】銀行員をしていたときに、銀行では苦情の受理はあったが、感謝事例はなかった。要望の約2割が感謝事例というのは、右京署の対応が良いからではないか。

【警察】交番勤務員の何気ない対応に関する感謝事例が多い。

【委員】近隣トラブルなどは苦情や要望に当たるのか。

【警察】該当しない。警察職員に対するものだけである。

【委員】消防署で勤務しているが、救急隊も救急現場で苦情を受けることがある。

【委員】外国人観光客から落とし物の申出を受けた時の対応策について、良い方法があれば教えてほしい。

【警察】宿泊先のホテルや日本国内で連絡が取れる代理人の連絡先を聞き取って対応している。

会 議
内 容

【委員】刑法犯の認知件数が減少する中、万引きは横ばいで減っていない。万引きで検挙されるのは高齢者が多いのか。また、万引きする理由はどのような理由からか。

【警察】高齢者が多い。

欲しかったからという物欲やお金が無い、お金はあるが払いたくないという理由があった。

【委員】認知症対策として靴に名前を書くという施策に取り組んでいるのは、交番か、それとも家庭か。

【委員】非常に良い取組だと思う。高齢者が靴に名前を書くのは、当たり前なのか。

【警察】梅津交番が府民協働防犯ステーションの取組として名前を書くシールを配った。

【委員】先日、警察本部で開催された警察署協議会会長会議において、地域包括センターと協力し、認知症対策に取り組んでいる警察署の紹介があった。

【委員】右京署では1日1件の割合で高齢者の保護があると聞いた。夜間の対応など区役所の福祉担当部署等とタイアップを進めてはどうかと思った。

【委員】高齢者の身元をしっかりと把握して、情報を共有すれば良いと思う。

【委員】自分では元気だと思っても、体力の衰えを感じることもある。

高齢者対策は行政とも連携を取ってほしい。

【警察】高齢者の取扱いは、今後も減少することはないだろう。有料施設では、高齢者が外出する際バッテリーが充分あるスマートフォンを持たせるなど知恵を絞っていると聞いている。

【警察】午後4時から午後6時までの時間帯は、過去の思い出に浸り徘徊につながる行動を起こすことが見られることから、高齢者施設では入所者を集めてその時間に音楽や趣味などに没頭できる時間に充てているところもある。

【委員】交通事故の説明で、午前8時からの2時間、午後4時からの2時間に交通事故が多発しているのは、出勤などで急ぐあまり、道路交通法を守らないドライバーが多いことが理由だと思う。

警察は、この時間帯にパトロールを強化したり、市民から情報提供を受け入れれば良いと思う。

【警察】赤色灯を回してのパトロールや可搬式オービスを活用するなど、府民の要望を踏まえた交通事故防止対策を推進していきたい。

朝は赤色灯を回してのパトロールのほか、安全運転を促す内容のテープを流して交通意識の高揚を図っている。

午後4時からの2時間は、季節によっても明るさが異なることから、薄暮時間帯の対策などを講じている。

【委員】京都市は防犯カメラの設置に補助金を出しているので、この制度を有効活用してもらえるように広報したい。効果的な運用を図るため、引き続きカメラの設置場所などについてアドバイスがほしい。

【委員】4月から道路交通法の改正により、自転車ヘルメットの着用が義務化される。ヘルメットの盗難防止対策が必要と思われる。

【委員】学生に周知させるため、改正道路交通法の動画を提供してもらいたい。

【委員】幹線道路の乱横断は高齢者のみならず、高齢者のヘルパーにも周知させる必要がある。近くに横断歩道があるにもかかわらず、高齢者と一緒に道路を横断しているヘルパーを見たことがある。

【委員】様々な意見が出たが、まとめとしては、今回の答申は
頼りがいのある右京警察署の運営
とする。

5 事務連絡

令和5年度第1回目の協議会については、令和5年6月頃、開催予定とする。

以上

第4回京都府右京警察署協議会の開催状況

